

設 建 第 289 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

愛知県北設楽郡設楽町
町長 加藤 和 年



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありました表記について、
別紙により回答いたします。

別紙

今後の道路行政についての意見・提案

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
- ② - 1 地域の現状と抱える課題
- ② - 2 地域の目指すべき将来像
- ③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

愛知県 北設楽郡設楽町

設楽町は東西約 22.4 k m 南北 19.7 k m、総面積 273.96k m²と広く、いくつもの河川沿いに小規模な集落が点在しております。道路は起伏が激しく急峻な地形のために、河川沿いを多く通過して集落間、市町村間を繋いでいますが、幅員の狭い箇所が多く、急カーブ、急勾配が連続し未改良箇所が多くあります。

町内を南北に通過する国道 257 号、東西に通過する国道 420 号、473 号は都市部を結ぶ生活、産業、交流の幹線道路であります。近年車両の大型化により車両のすれ違いができない、ゆずり合いができない、又落石、追突事故など常に危険と不安を感じる状況にあります。公共交通機関の少ない当町では住民が仕事に行く、病院に行く、学校に行く、買物に行く又、防災など安心して生活できる基盤は道路であります。

道路網の整備も遅れ、過疎化、少子高齢化の著しい当町はこの打開策として、地域資源を活用した産業の振興、交流事業に取り組んでおりますが、町内の移動のみならず、都市部までの移動に多くの時間を要することが障害となっています。

都市部と山間地域を、安全で短時間に繋ぐ幹線道路の整備が地域の活性化に必要不可欠であります。

都市部を結ぶ生活、産業、交流の幹線道路であります南北の国道 257 号、東西の国道 420 号、473 号の早期整備を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②ー１ 地域の現状と抱える課題

愛知県 北設楽郡設楽町

○現状

名古屋市まで２時間３０分、豊田市・豊橋市まで１時間３０分、新城市まで５０分と都市部までの移動に長時間を要し又、未改良区間もあり危険を感じる箇所が随所にあります。

特に救急医療においては、医療施設へのアクセスに時間を要するため生命に不安を抱えています。

山間地域における活性化は自然環境を活用した都市部との交流、産業の振興、町村間の交流、広域行政の推進などがありますが市町村間、集落間を結ぶ道路においても未整備箇所が多く来町者や住民が苦慮しています。

○課題

- ・都市部までの所要時間短縮の広域幹線道路の確立
- ・地域内、地域間交流が安心してできる安全な道路網の整備

東三河地域の重要な水源地域、知名度を持つ観光、交流資源、高冷地農業等地域の特性や資源を活かした産業の振興、森林などの環境保全活動を通じ下流地域、都市部が一体となった活力と賑わいのある町を基本に掲げ「森と水のちからと人の営みが調和するくらしと出会いのまち」を将来像として設定し取り組みをしています。

新東名高速道路、三遠南信自動車道路が整備され、さらには「新東名高速道路新城 IC（仮称）」から恵那市において中央自動車道、濃飛横断自動車道へと接続を要望している「三河・東美濃地域間高規格幹線道路」が整備され、距離、時間が大幅に短縮され尾張・三河・遠州・東美濃地域との「人、物、情報」が活発に行き交い、新たな産業の出現など活力と賑わいのある地域を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

愛知県 北設楽郡設楽町

○重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	一般国道 257 号は、奥三河の西部南北幹線道路として設楽町を南北に走り東名高速道路の浜松 IC、豊川 IC や中央高速道路の恵那 IC に繋がり山間地域と都市部を結ぶ通勤通学、医療福祉の生活道路であり又、地域の産業経済、文化、防災などに大きな役割を果たしています。 当路線は岐阜県側、静岡県側など各所において規格改良、道の駅など整備され遠隔地通勤、都市部との交流が活発化されるようになりました。一方では、大型車両の通過が著しく増加したことにより急カーブ箇所、急勾配箇所又、通学道路としている歩道未整備箇所が町内随所にあり非常に危険な状況にあります。	当路線は新東名高速道路、三遠南信自動車道路及び中央自動車道路のアクセス道路として、遠州・三河・東美濃地域との「人、物、情報」が活発に行き交う「三河・東美濃広域道路交流促進型」道路として位置付けしています。 設楽町は、東三河地域の重要な水源地域、知名度を持つ観光、交流資源、高冷地農業等豊富な資源が多くあります。これらを活かした農林産業の振興、森林の適正管理など環境保全活動を通じ下流地域、都市部が一体となり地域を活性化する取り組みをしています。 産業、定住、交流の基盤は都市部まで1時間以内で移動できる道路網の整備であります。整備することにより、都市部との交流をはじめ通勤体制、滞在型農林業利用者の居住、通勤圏の拡大による二地域居住などの展開と定住が促進され、さらには農林業、商工業が活性化されます。	